

事業番号	事務事業名	高齢者等タクシー料金助成事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01578	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等		井手 俊文

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	65歳以上の高齢者の方、障害者の方で運転免許証を保有されていない方、母子保健手帳の交付を受けている方を対象に、タクシー料金の6割(上限5,000円)の助成を行う。 日常生活の利便性の向上と経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者の外出支援を行うことにより、健康を維持するための施設へ出向く人が増え、健康なまちづくりに繋がると思われる。 また、高齢者が免許証を返納し易い環境づくりに繋がると考えられる。	高齢者・障害者等から、買い物・医療機関への通院・コミュニティ施設・行政機関等の施設に行くまでの交通手段がない。併せて、バスの運行についても、自宅からバス停までの距離が遠い・病院の予約時間にバスの時刻が合わないなどの意見が多く、交通手段の確保として、令和3年12月から事業開始する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	65歳以上の町民	→	ア	人	見込 実績			4,651 4,746	4,613	4,670
イ	障害者手帳等受給者	→	イ	人	見込 実績			770 745	770	770
ウ	町民(妊婦)	→	ウ	人	見込 実績			100 75	100	100

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	日常生活の利便性の向上と経済的負担を軽減する	→	ア	人	目標 実績 達成率			400 350 87.5%	500	600 58.3%
イ		→	イ	件	目標 実績 達成率			3,200 2,774 86.7%	10,800	12,000 23.1%
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	申請の受付	→	ア	回	目標 実績 達成率			400 350 87.5%	500	600 58.3%
イ	委託料の支払い	→	イ	回	目標 実績 達成率			16 16 100.0%	60	60 26.7%
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01 03 項		01 04 目		04 07 09 大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		民生費		社会福祉費		老人福祉費		高齢者等タクシー料金助成事業					01578
(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町 債							町 債							
その他特財							その他特財							
一般財源			5,500	18,250	18,250	5,500	一般財源			3,217	18,250	18,250	3,217	
合計			5,500	18,250	18,250	5,500	合計(A)			3,217	18,250	18,250	3,217	
財源名称							従事正職員人数			2	2	2	2	
							延べ業務事務時間			100	100	100	100	
							人件費計(千円)(B)			335	342	342	335	
	最終予算額		5,500 千円		予算執行率		58.4%	トータルコスト(A+B)		3,552	18,592	18,592	3,552	
主な 支出事業内容 (予 算)	消耗品費				200 千円		主な 支出事業内容 (決 算)	消耗品費				193 千円		
	通信運搬費				100 千円			通信運搬費				78 千円		
	委託料(物)				5,000 千円			委託料(物)				2,746 千円		
	備品購入費				200 千円			備品購入費				200 千円		

事業番号	01578	事務事業名	高齢者等タクシー料金助成事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 高齢者の介護予防施策として、外出支援が検討課題にあがっている。医療機関への通院、買い物など外出する時の交通手段は路線バスか町営バスを利用するしか手段はなかった。住民の方からタクシー代の助成を望む声が3年前から多く寄せられていた。
- ② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
 町営バスの時刻・路線変更などをおこなってきたが、高齢者の外出支援には結びつかなかった。
- ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
 住民の方より、公共交通機関を利用して病院へ通院した場合、診察が遅くなったらバスが利用できなくなる。買い物をした時にバス停から遠く歩くのが大変。との意見が多く寄せられ、タクシー料金助成の要望が寄せられた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 高齢者の外出支援を行うことにより、健康を維持するための施設へ出向く人が増え、健康なまちづくりに繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 公共交通機関までの距離が遠い、病院の予約時間に合わないなどの意見に対応するため、町の事業により支援を行う。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 高齢者等の方で運転免許証を所持していない、交通弱者の方を対象としている。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 令和3年12月からの事業開始のため、事業についての、周知・啓発活動がまだまだ必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 日常生活の利便性の向上と経済的負担の軽減に影響が出る。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 申請は1回のみで更新はない。簡素化を考慮して事務をおこなっているため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 必要最小限の経費で運用しているため、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 必要最小限の経費で運用しているため、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 高齢者等の方で運転免許証を所持していない、交通弱者の方を対象としている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	利用者を増加するため、事業について、更なる周知をおこなう必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
運転免許証の種類について検討を行う必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							